

帯広、早朝 繁華街の駐車場

『飲酒運転』

平穏な日常を、一瞬で悲劇に変えてしまいます

帯広 早朝4時

繁華街の駐車場から出た軽乗用車
運転の女子大生

基準2倍アルコール検知で逮捕

警察は、どこで、どれくらいの量の酒を飲んで運転したのか
引き続き調べをすすめる

2023/1/31(火) 11:47

31日早朝、帯広市で、酒気帯び運転したとして、21歳の女子大学生が逮捕されました。

警察によりますと、31日午前4時ごろ、パトロール中の警察官が、帯広市大通南9丁目付近の駐車場から出た軽乗用車に気づきました。

現場は繁華街で、時間も時間なので、停車させ、職務質問すると、運転していた女子大生は「酒を飲んでいない」などと話しました。

しかし、酒の臭いがしたので、呼気検査すると、酒気帯び運転の2倍のアルコールが検知されたため、その場で逮捕しました。

21歳の女子大生は、逮捕後の取り調べに対しては「間違いない」などと話し、容疑を認めているということです。

警察は、女子大生がどこで、どれくらいの量の酒を飲んで、運転したのか、引き続き調べをすすめることにしています。